

別記様式第2号

令和 4 年 5 月 7 日

| | |
|--------------|--|
| 行政視察報告書 | (会派の場合) 会派の名称 |
| | 代表者氏名 |
| | (会派以外の場合) 議員氏名 土佐 洋子 |
| 参加議員 | 土佐 洋子 議員 議員 議員 議員 議員 議員 議員 議員 |
| 日 程 | 令和 4 年 4 月 17 日 (日) ~ 4 月 18 日 (月) |
| 視 察 先 | (1) 那覇文化芸術劇場「なはーと」 (2) 沖縄県議会 (3) 那覇市若狭公民館 |
| 視察目的 (項目) | (1) ローカル・マニフェスト推進連盟 (全国若手市議会議員の会共催) (2) 地方議会研修会～地方議会のオンラインと DX、この潮流に乗り遅れるな！ (3) 基本から最前線まで！～ |

【調査内容・概要】

・ 基調講演

早稲田大学名誉教授の北川正恭先生より、「議会の DX で善政競争をリードする」を伺いました。議員定数や政務活動費の削減は議会改革ではない。地方議会のあり方として監視機能だけでなく、民意を反映し政策立案すること、本当の議会改革は質的に充実させることが大切とのこと。本当の改革は質的に充実・変換することが必要です。

オンライン会議で意見を集約することができる。民意をオンラインでも反映することができる。北川先生のお言葉で TTP とは「徹底的にパクレ」の略で、先行自治体・議会などの良いところを徹底的にパクリ、より良いものを作り上げていくということです。

民意を反映できるようにするためには、議会 DX を推進する必要性を感じました。

・ 事例報告

「中学生が創るこれからの条例那覇市民としての政治参加を考える」

伊波 勝之 氏（仲井真中学校・教諭）

中学生が創るこれからの条例。実際に中学生が公民の授業で条例案を作成し、那覇市で議会提案に結びつき条例が採択されました。このことにより、子どもたちが政治に興味がなかったのだけれど、那覇市民としての政治参画を考えるようになったとのこと。

10代 20台の投票率が低いとのことでしたが、それでも実際のところ 50%弱の投票率があるのには驚きました。それ以上の年代の方々の投票率はもっと高いです。沖縄の高校生に聞いた Q 社会問題に関心がある？ 83.4%、Q 投票に行こうと思う？ 81.7% と、意識の高さは 8割を超えています。

今年、沖縄本土復帰 50年の節目の年ではありますが、沖縄県内ではいろいろな課題を抱えており、そのため子どもたちの意識も高いのだと感じます。

・ 議会 DX 実践報告

清水 克士 氏（大津市議会・議会議長）

大津市議会のオンライン議会について、議会事務局長より説明を受けました。新型コロナウイルスの影響で、議員などの欠席が多く必要に迫られたようです。国にも何度も働きかけを行っています。大災害やコロナ禍で議会がリアルに開催できない場合でもオンラインを活用。予算、議案の審議など議会の役割を果たすための環境整備が必要です。とても実践的な事例紹介でした。

沖縄県議会を見学

本会議場の高さは 12m もあります。宮古上布（みやこじょうふ）がふんだんに使われている。宮古上布とは 600 年の歴史を持つ、日本古来の高級織物の 1 つです。栽培から糸績み、織り、砧打ちまですべての工程を宮古島で行うのが決まりだそうです。本会議場を見上げたところにミラーの部屋があり、そちらは親子での傍聴席、そのお隣は貴賓傍聴席があり、かつて当時の総理大臣だった鳩山由紀夫首相が傍聴にみえたこともあるそうです。他に車椅子用の傍聴席もあります。総工費は 74 億円。演壇の両側には龍がいて、ここが沖縄の政治の中心であることを現している。議員控室とは別に議員居室が 1 人ずつあるのが面白いです。

・「DX 時代に『伝える』ということ」

講師の先生は、テレビ東京・官邸キャップをされている篠原 裕明 氏。岸田文雄総理や小渕裕子氏、二階俊樹氏など大物議員の多くが沖縄県に後援会組織を置いていることが多いが、それは軍事安全保障など県民の情報感度が高いから。

伝えたいことを一言で言わないと自分自身で目的・目標を明確でないと、伝わらない。わかりやすく、ストーリー性を持って話をする。結果があるから原因があるということ。これを丁寧に説明していく。演説で何かを伝えるのは難しいけれど、1 つ伝えられれば良しとする。15 分でも 10 分でも時間があっても、詰め込みすぎないようにすることが大切。

岸田総理はやりたいことが明確ではないので、話すことがぼやけてしまう。それがはっきりわかったときに化けるかもしれない!?

受け取る側の立場で話すということ、テーマを選ぶときに一般の方の視点でということ改めて感じました。